

## 説教「キリストが伴いたもう主の祈り」

出エジプト記一七・七

マタイ 四・五〜七

牧師 森田恭一郎

教会学校のカリキュラムでは主の祈りを順々に学んでいます。今日は「我らを試みに遭わせず、悪より救い出（いだ）したまえ」の所で、その聖句として、イエス様が荒野で悪魔から試みを受けられた場面の聖句を味わいます。試みは試練とか誘惑と言いつても構いません。それで、この場面は「荒野の誘惑」とよく言われます。

それにしてもイエス様は何故、荒野に出かけられたのでしょうか。福音書は不思議なことを記しています。さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、「**霊**」に導かれて荒野に行かれた（マタイ四・一）。聖霊がわざわざ導かれました。イエス様が誘惑を受けるためにです……。それは、いつも誘惑にさらされ誘惑や試練を受ける私たちと同じ経験をなさるためです。ただ、イエス様は誘惑に負けたり、罪を犯すことはありませんでした。でも私たちと同じマコトの人として、私たちと同じ試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たを助けることが出来るのです（ヘブル二・一八参照）。私たちの苦しみをご存知です。

さて今日の聖句カード（二〇二六年版No.11）を見て見ましょう。イエス様の後ろ横に、覆面をかぶったような変な人がいますね。悪魔と言っています。悪魔はこんな格好をしているのでしょうか。いやこれは絵に描いて表現したんですね。よく見

ると、この悪魔は、何だか透きとおって透明人間みたい。私たちに気付かれないようにしているんですね。人間の泥棒だつて気付かれないように忍び込んでくるでしょう。福音書は悪魔を言い換えて、誘惑する者（マタイ四・三）とも言っています。



誘惑する者となると、自分の横後ろだけでなくもっと身近に居るのかもしれないよ。透明人間のように姿は見えませんが、宿題をしなればいけないのについてテレビを覗いて夜遅くなって眠くなっちゃった。テレビが誘惑してきます。今はご飯を食べるときなのについておもちやで遊んじやった。おもちやが誘惑してきます。どこにも誘惑はあります。誘惑に勝てますか？ 誘惑に勝とうとする

と苦しい。だから誘惑にいつも負けてしまいます。

イエス様も誘惑されました。今日は二番目の誘惑です。悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の橋に立たせて言った。「神の子なら飛び降りたらどうだ。『神があなたのために天使たちに命じると、あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える』と書いてある」（マタイ四・五）。これは聖書の詩編の言葉です。悪魔は聖書を読んでいるんです。そして賢い。聖書の言葉で誘惑してきます。私たちは、聖書に書いてあるならいいんじゃない、と誘惑に負けてしまいがちです。しかも悪魔は言います。「あなたは神の子なのでしょ、天使は助けてくれますよ」。その通り！ イエス様は神の子です！ ころから試しに飛び降りたらどうだ。天使が助けに来てくれる。そのように父なる神は天使たちに命じてあなたを守って下さるはずだ。

イエス様はどうされましたか。イエス様はしっかりと指差していますよ。神様に御顔を向けています。イエスは「『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」とも言われた。神様を試す。こちらが神様になってマコトの神様から離れてしまっています。イエス様は、聖書の詩編の言葉を以て反論して、誘惑に負けません。

悪魔は賢いから、私たち人間にはこう誘惑してきます。ここは人間の世界だ。神は本当にいるのか？ イエス様が神の子だなんて本当か？

イスラエルの民は荒野を旅していた時飲む水がなくて喉がカラカラでした。神様がいるんだっから飲み水をくれとモーセに求めました。このことを聖書はこう記します。「果たして、主は我々の間におられるのかどうか」と言ってモーセと争い、主を試した（出エジプト記一七・七）。こちらが神様になつてしまっています。そしてマコトの神様から離れていきます。私たちも同じです。イエス様が指さし御顔を向けているのと反対の方へ悪魔は手を差し出していきますよ。そして神の御子イエス様を信じられなくしようとしています。

私たちはどうすれば良いのでしょうか？ 誘惑に負けそうな時、そして誘惑に負けてしまった時、祈るんです。「我らを試みに遭わせず、悪より救い出したまえ」。誘惑の中で祈るようにとイエス様は「主の祈り」を教え与えて下さいました。だから私たちが「主の祈り」を祈る時、この祈りを教え与えて下さったイエス様が私たちに伴っていて下さいます。確かにイエス様はいて下さる。試すのではなく信じる事が出来ます。